

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公開番号】特開2010-144517(P2010-144517A)

【公開日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【年通号数】公開・登録公報2010-026

【出願番号】特願2008-319128(P2008-319128)

【国際特許分類】

F 04 B	39/00	(2006.01)
F 04 C	29/00	(2006.01)
F 16 F	15/32	(2006.01)
F 16 F	15/31	(2006.01)
F 16 H	53/02	(2006.01)
F 16 H	53/06	(2006.01)

【F I】

F 04 B	39/00	1 0 2 U
F 04 B	39/00	1 0 6 D
F 04 B	39/00	1 0 3 R
F 04 C	29/00	E
F 04 C	29/00	D
F 16 F	15/32	J
F 16 F	15/31	E
F 16 H	53/02	
F 16 H	53/06	

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月28日(2010.5.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

固定子および回転子を具備する電動機構と、
 冷媒ガスを圧縮する圧縮機構偏心部を具備する圧縮機構と、
 前記回転子と前記圧縮機構偏心部とを連結する駆動軸と、
 該駆動軸を回転自在に軸支する駆動軸軸受と、
 前記回転子に回転中心からの距離が変動自在に設置されたバランスウェイトと、
 前記駆動軸軸受の外周に設置され、前記バランスウェイトが押し付けられるカム面を具備するカム機構と、
 前記バランスウェイトを前記カム面に押し付けるための付勢手段と、を有し、
 前記回転子の回転角に応じて前記バランスウェイトの重心位置を変更可能にしたことを特徴とする密閉型圧縮機。

【請求項2】

前記カム機構が橈円型のカム面を具備し、
 前記バランスウェイトが、前記カム面に当接する平面状の当接面を具備し、
 前記バランスウェイトの重心位置と回転中心とを結ぶ線と、前記当接面とが形成する角度が、前記回転子の回転角に伴って変動することを特徴とする請求項1記載の密閉型圧縮

機。

【請求項 3】

前記付勢手段が、前記バランスウェイトを回転中心からの距離が変動自在に案内するガイド機構に取り付けられたバネであることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の密閉型圧縮機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る密閉型圧縮機は、固定子および回転子を具備する電動機構と、冷媒ガスを圧縮する圧縮機構偏心部を具備する圧縮機構と、前記回転子と前記圧縮機構偏心部とを連結する駆動軸と、該駆動軸を回転自在に軸支する駆動軸軸受と、前記回転子に回転中心からの距離が変動自在に設置されたバランスウェイトと、前記駆動軸軸受の外周に設置され、前記バランスウェイトが押し付けられるカム面を具備するカム機構と、前記バランスウェイトを前記カム面に押し付けるための付勢手段と、を有し、前記回転子の回転角に応じて前記バランスウェイトの重心位置を変更可能にしたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の冷凍空調装置は、回転子の回転角に応じてバランスウェイトの重心位置を変更可能、すなわち、一回転中にバランスウェイトが移動する軌跡（回転角毎の重心位置に同じ）を規制されているから、圧縮機構偏心部に作用する冷媒ガスの圧力変動によって発生した回転トルクの変動（回転角速度の変動に同じ）を、抑制することができる。